

## 高齢者世帯等ごみ出し支援事業「ふれあい収集」を実施します

家庭ごみを所定の収集場所まで持ち出すことが困難な世帯を対象に、戸別に訪問収集を開始します。

### 対象となる方

親族や近隣住民の協力が得られない高齢者(75歳以上で要介護2以上)の世帯か、身体障害者手帳の2級以上または、療育手帳A以上の交付者

●申請には必ず電話での事前相談が必要です。「ふれあい収集」の利用を希望される方は、運転管理センターまで問い合わせください。

### ごみの収集方法

- 収集日は週1回(11月1日から開始予定)
- 利用者宅の玄関先や門扉先とし、蓋付きの収納箱を設置
- 収集するごみは、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみを分別して排出

●問い合わせ 運転管理センター ☎25-2111 FAX25-2112

## 高齢者および高校生世代の方が自転車用ヘルメットを 購入した場合の補助事業を実施します!

令和5年8月4日(金)  
購入分から対象です

### 対象となる方

- 1 吉野川市内に住所を有していること。
- 2 高齢者  
(令和6年3月31日時点で満65歳以上になる方)
- 3 高校生世代  
(令和5年4月1日時点で満15歳以上であること  
または令和6年3月31日時点で満18歳以下であること)  
※対象者が未成年のときは保護者の方が申請してください。

### 補助対象になる品

吉野川市内で購入した新品ヘルメットで、次のいずれかの認証を受けていること。

- ①SG ②JCF ③CE EN1078  
④GS ⑤CPSC1203  
⑥その他①から⑤までに類する認証などを受けた  
マークなどが付されたもので、市長が認めるもの

### 補助対象経費

ヘルメットの購入費用のうち、本体価格に消費税額を加えた額。ただし、ポイントなどを利用して購入した場合は、そのポイントなどに相当する額は補助の対象外。

### 補助額

※10円未満の端数は切り捨てです。  
補助対象経費の2分の1(上限3,000円)

### 補助金の申請方法

ヘルメット購入後、令和6年3月31日までに「吉野川市自転車用ヘルメット購入費補助金交付申請書兼請求書」を次の添付書類とともに、窓口へ提出してください。  
(1)領収書の写しなどヘルメットの購入に要した経費およびその支払いが完了したことが確認できるもの  
(2)ヘルメットが補助対象になる品であること(安全基準に適合していること)が確認できるものなど  
(3)振込先口座が確認できるもの

●問い合わせ 生活あんしん課(市役所本館1階) ☎22-2269 FAX22-2245

## 「吉野川市はばたけ!! 若者応援プロジェクト」の実施事業が決定しました!!

事業実施を決定した3つの事業が、ふるさと納税サイトである「ふるさとチョイス」のガバメントクラウドファンディング®(※)による資金調達を開始しました。資金調達後、令和6年度に事業を実施します。

(※)ガバメントクラウドファンディング®とは…自治体がふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングのこと。

- 1 #じゃない方の徳島の挑戦 | 徳島県に2つ目のJリーグクラブ誕生へ  
事業実施者: 株式会社 Fortua
- 2 「田舎と都会の架け橋になりたい」吉野川市の魅力ある自然を全国に!  
事業実施者: 株式会社ラフハーツ・エイテム
- 3 若者の“得意”を発揮できる『次世代観光大使』を生みだしたい!!  
事業実施者: 株式会社 エンターナル× FUKU-GYO-LIFE 株式会社

※事業内容は右の二次元コードをご確認ください。  
※吉野川市に住民票がある方が寄付をした場合は、返礼品の送付はありません。



●問い合わせ 商工観光課 ☎22-2226 FAX22-2237



鍵収納ボックス

防団などの連絡手段として確保できるようになり、通信手段の多重化が図れます。

●震度感知自動解錠式・鍵収納ボックス設置事業

震度感知自動解錠式・鍵収納ボックスは、震度5以上の揺れを感じると、施設鍵を収納した鍵箱が自動で解錠されるもので、避難所に設置することで、施設管理者の到着を待たずに施設へ入り、迅速に避難所の開設が可能となります。

南海トラフ巨大地震などの大規模災害への備えとして、これまでに小中学校体育館など6カ所の避難所に設置しており、本年度、県の補助金を活用し、新たに4カ所の小学校体育館へ設置します。

今後におきましても、小学校体育館などを中心に、計画的に整備を進めていきたいと考えています。

●ヘルメット購入費補助事業

自転車乗車中の死亡事故において、約7割の方が頭部に致命傷を負っていることを受け、県と協調し、自転車乗車時のヘルメット着用を促進するため、特に着用率の低い高校生世代および自転車事故による死者の割合が高い65歳以上の高齢者を対象とした「ヘルメット購入費補助事業」を実施することとしました。

本事業は、対象者の方が必要な基準を満たすヘルメットを購入する場合に、1個当たり3000円を上限に補助金を交付するものです。(本号5ページ参照)

●環境教育の充実

本市では、新たなごみ減量化の取り組みである「宝のごみもったいないプロジェクト」の一環として、本年6月から「飲料用紙パック」のリサイクルについて、実証実験を行っています。

実際に収集した紙パックから再生品化された紙製品を、収集に協力いただいている各

### 持続可能な地域づくりと市役所の変革

学校に配布し、「実際に見て、使用してもらう」ことにより、更なる環境学習に対する効果を期待するとともに、未来を担う子ども達の意識を変えることで、今後のSDGsを推進するきっかけになればと考えています。

●新ごみ処理施設整備事業の進捗状況

去る8月22日に新施設の起工式を行い、9月から施設本体の着工に取りかかります。

新施設に係る整備状況については、市のホームページなどでその進捗をお知らせしてきましたが、今後は新たに専用のサイトを設け、市民の皆さんに、進捗を見守っていただきたいと考えています。

●水道事業ビジョンおよび水道事業経営戦略の見直し

人口減少や節水機器の普及などによる水需要の減少に加え、老朽化した施設や管路の更新需要の増大、地震など自然災害への対策、さらには物価高騰の影響など、水道事業をとりまく環境は、計画を策定した当時とは大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、

## 議会だより

今年度末から2年間かけて水道事業ビジョンならびに水道事業経営戦略の見直しを行い、将来にわたって安全で安心な水の安定供給が確保できるように、経営基盤の強化に努めていきます。

●専決処分の報告ほか

●報第15号(報第18号)

●決算認定

◆令和4年度吉野川市一般会計、及び国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計に係る歳入歳出決算認定

◆令和4年度の水道事業会計、及び下水道事業会計の決算認定

●条例

●吉野川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

●予算

◆令和5年度一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出それぞれ2030万円を追加し、補正後の予算総額を、206億8214

万円とするものです。

◆令和5年度一般会計補正予算(第6号)

歳入・歳出それぞれ3億2096万7千円を追加し、補正後の予算総額を、210億310万7千円とするものです。

◆令和5年度一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出それぞれ2200万円を追加し、補正後の予算総額を、210億2510万7千円とするものです。

◆令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

●市道路線の認定

宅地開発のために新設された道路の寄付を受理したことに伴い、市道路線の認定を行うものです。

◆教育委員会(1名)、公平委員会(1名)、農業委員会(19名)の各委員、及び人権擁護委員(2名)の選任、及び推薦について

